

2003年10月号 石油パイプラインをめぐる攻防

NI No.361 October 2003
Oil pipelines

<内容>
(本文は英語です)

権力につながるパイプライン

石油パイプラインは人々に力を与えるはずだった。しかし、その真相は？

パイプラインのウソとホント

アフリカのチャド カメルーンパイプラインの宣伝文句を分析。

パイプラインの作り話

公共資金による民間事業であるパイプライン敷設によって被害を受けた、アゼルバイジャン、トルコ、グルジアの人々。

終わりになき戦い

コロンビアでの内戦の中、パイプラインをめぐる対峙する政府もゲリラも武器を手放すことはない。

パイプライン その事実

誰が石油を手に入れ、誰がそれを欲しがり、誰がそこから利益を得ているのか。

資源をめぐる策略

チモール海の資源は誰のものか？ そのずるがしこいオーストラリアの外交舞台を追う。

石油あふるる世界

世界中の石油パイプラインからの漏れ、破裂、炎上等トラブル報告。

石油の無くなる日

石油が終わりに近づき値段が上昇したら、または無くなってしまったら、どんな影響をもたらすのか。

省エネしよう

石油を使う消費生活を考え直そう。

将来を考えた決断

石油会社にNO！を突きつけたコスタリカの挑戦。

その他、世界の情勢を伝えるニュースやリポートも掲載



石油パイプラインによって人々は力を授かる。ただ問題なのは、ここで言う人々とは一体誰のことを指すのかということだ。それに、パイプラインが運ぶのは石油だけではない。政治力もまた、パイプラインによってもたらされるものだ。しかしその政治力は、パイプラインが通る国の人々のために行使されるのではなく、人々にとって不利に作用する。

今月のNIは、世界の石油パイプラインを検証し、いかにして利益、政治力、特権が石油豊かなマジョリティーワールド(南の国々)からマイノリティーワールド(北の国々)の企業経営者や銀行口座へと流出してゆくのかを探る。

NI-Japan No.49 2003年10月号
石油パイプラインをめぐる攻防

<内容>
(本文は日本語、一部英語です)

<今月のNI本誌記事>

権力につながるパイプライン
(NI本誌p9-12の翻訳)

<Reporting from Japan>

日本の新しいエネルギー
供給地「サハリン」を覆う影
～脚光を浴びるサハリンの石油・天然ガス
開発が地域にもたらすもの
FoE Japan 神崎尚美

<Contact Points>

サハリンの石油・天然ガス開発問題に取り組む団体、参考書籍情報。

<Country Profile>

「世界の国のプロフィール - エルサルバドル」
(NI本誌p36の翻訳)



NI (英語版、A4サイズカラー、約40ページ) と日本編集のNI-Japan(日本語、A4サイズモノクロ、12ページ)をセットでお届けします。

【年間購読(1・2月号は合併号のため年11回発行)】

1年間 10,500円(送料、消費税込み)

2年間 19,000円(送料、消費税込み)

【お試用最新号またはバックナンバー】

1,000円(送料、消費税込み)

* ホームページでは、購読お申し込みやバックナンバー照会、無料メールマガジン申し込み等がご利用頂けます。



<お問い合わせ・お申し込み>

有限会社インティリンクス

〒193-0843 東京都八王子市甘里町46-2

Tel / Fax : 0426-29-4863

E-mail : info@ni-japan.com

URL http://www.ni-japan.com/